



# KFP通信

鵜沼小学校保護者及び近隣町内会の皆様へ

平成 20 年 12 月 第 15 号  
鵜沼小 P T A 自主活動  
KFP 鵜沼おやじパトロール隊



さる 11 月 22 日 (土) KFP 3 校 (鵜小、鵜洋、鵜中) 合同活動として、“地域安全マップ作成講座”を行いました。そこで、今回の KFP 通信は、『入りやすい、見えにくい』というキーワードで、『犯人目線に立って』危険予測のノウハウ・・・について書いてみました。

実際、子供たちはどのような被害に遭っているのかを罪種別にみると、「略取・誘拐」が最も多く、次いで「強制わいせつ」、「公然わいせつ」が多くなっています。被害の多い場所は、未就学児はマンションなどの共同住宅、道路上、一戸建て住宅、小中学生は駐車（輪）場と道路上なのだそうです。子どもが一人になる場所が多いところほど、犯罪が発生しやすくなるようです。そして、不審者というのは見た目では判断しにくいですが、犯罪が起こりやすいと考えられる危険な場所は、事前に知ることができると思います。

そこで、「入りやすい、見えにくい」というキーワードで街を点検してみると、普段何気なく通っている道路や通学路、公園などで、じつは危険だと思われる場所が多いことに気がつきます。

では、具体的にどのような場所が危険か？ 作成したマップを参考に例を挙げてみましょう！

見通しも良く安全と思われる公園でも、左奥にある物置倉庫の裏は  
民家の塀と木々に覆われ死角になっている  
街灯が少なく、夜は非常に暗い一車線の道  
大木と社により、人目に付きにくい死角がある  
生垣の高い壁があり昼間でも日当たりが悪く、人目につきにくい路地  
万年塀と窓の少ない民家に囲まれ死角ができてしまう駐車場  
学校の草木と線路に挟まれ、逃げ道のない狭い一直線の道



大人の目で危険と思われる場所があったら、改善していきましょう。例えば、公園のフェンスが壊れていたり、ゴミが散らかっていたりしたら、管理者に報告し改善してもらうなどです。

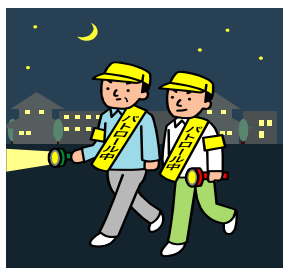
## ！Point 普段からもしもの時のため

しっかり事前対策をしておいたのに、いざとなったら声が出なくなってしまう...などはニュースの報道などでも良く聞く話。普段からお子さんに防犯ブザーの使い方を教えたり、大声を出す練習などをしておく、突然起こった危険事態にも対応できる確率が高くなります。



## ！Point 常に報告させる習慣を身につけさせる

お子さんが学校から帰る時間やどこに遊びに行っているのか、誰と出掛けているのかなどを把握していれば、いつもと違う状況に、すぐに気づけるようになります。お母さんが「どこいくの？」と声をかけなくても、子どもがすすんで報告する習慣がつけば、“いつの間にかどこかへ出掛けてしまった！” などというケースを防ぐことができます。



鵜沼地区では、各町内会での防犯パトロール隊が夜間パトロールを実施して、朝はおはようボランティアの方が子供たちを見守ってくれています。鵜沼地区全体で防犯意識が高まってきているように見えます。地域全体で防犯に取り組みれば、鵜沼地区から不審者が少なくなると思います。町内のパトロール隊、おはようボランティアの皆様ありがとうございます。

KFP (鵜沼小) は今年度も学校、地域、地区に密着したパトロール隊を目指して行きます。隊員も随時募集しています。鵜沼小学校保護者 (お父さん) の参加をお待ちしています。皆様のご協力をお願い致します。

隊長